新会員紹介

二刀流　　大塚孝治

数年前からウォーキングコースの一つとして貞福寺参りをしてきました。当時は５年越しの腰痛と肩凝りに悩まされていましたが、土橋の畔の花壇に新たに植えられた花、草刈りが時々行われ、歩き易くなっているのに気づき、５月よりオイコスに参加しました。

同時期にふれあいプラザの卓球サークルに参加して、そのごは「二刀流」を続けてきました。雑草の根を掘るために鍬を振って汗を流すことは慣れない作業ですが腰や肩に良いようです。二刀流の効果か、三度目のトライで富士山頂を７月に極め、今ではあれだけ酷かった腰痛も肩凝りも完治しました。

今後も二刀流を続け、オイコスにおいては道行く人に楽しんでいただく散歩道の保全に努める所存です。

八千代オイコスの新入会員です　　藤田千博

昨年９月に八千代市に引越してきました。八千代市は緑豊かな街で毎日を楽しんでいます。“川の学校”に参加して、子供さんも親の皆さんも楽しんでいるのを見て感激です。わからないときは、オイコスの皆さんに質問をして知識を深め、作戦会議ではお互いに意見を活発に発表されていました。

私の郷里は”かのやバラ園”で有名な鹿児島県大隅半島にある鹿屋市です。私が小さい時は、里山、川は生活の一部でした。里山には燃料としてのたきぎ拾い。行き帰りには野イチゴを食べたり、クリ拾いもしていました。川は稲を育てるのに必要な水の確保で重要な役割を果たしていました。川ではウナギを仕掛けで取ったり、釣りを楽しんだりして遊んでいました。いま田舎に帰ると、人が踏み入れていない里山、ウナギもとれない川となっています。

私が八千代オイコスの会員やホタルメイトになったのはかつての田舎への郷愁でもあり、今の若い人たちに私の生活の一部であった里山、川を知ってもらいたいからです。川を通して、自然の良さ、大切さを知ってもらいたい。また遊びを通して先輩、後輩、仲間の集まりを学んでもらいたい。

江戸時代に利根川の東遷の為、印旛沼のまわり、鹿島川、平戸川の人々の暮らしは一変したそうです。それも、昭和 41 年に新川に大和田排水機場ができるまで３百年近くあばれ沼に苦しめられ続けてきたそうです。その間、染谷源右衛門さんをはじめとする多くの人たちが水とたたかってこられました。

今穏やかな印旛沼、新川があるのは先輩たちの″夢””努力””使命″のおかげであります。感謝です。私たちが生きていくためには必要な”水”。これからも飲料水として、食料を育てる農業用水として、生活を支える工業用水として、自然を育む”水”として大切にしたいです。

そのために先輩の皆さんに教えてもらいながら、身近な川を自然との共生の場として考え、行動していきたい。

編集後記

暦（こよみ）が平成２６年の午年から平成２７年の羊年にバトンタッチしました。これを干支（えと　かんしと読む）で表すと「甲午　きのえうま」から「乙未　きのとのひつじ」となります。

干支は十干と十二支を組み合わせた６０を周期とする数詞です。

十干とは「甲　乙　丙　丁　戊　己　庚　辛　壬　葵」であり、十二支は「子　丑　寅　卯　辰　巳　午　未　申　酉　戌　亥」です。

干支は「暦」を始めとして「時間」「方位」などに用いられます。ちなみに筆者の年賀状は今年も、年号の平成二十七年元旦とは書かず、二文字で表す暦の「乙未元旦」を使用しました。

さて　今年誕生した赤ちゃんの暦は「乙未」ですが、同じ暦の「乙未」を迎えるのが６０年後となるわけです。すくすくと育つことを祈り、今年も穏やかで良い歳でありますよう祈願します。

（TANA＝H）

発行責任者：川瀬　純一　　事務局＆問合せ：小原　翔　☎：047-450-4663　mail：info@yachiyo-oikos.jp

～～よみがえれ花輪川～～

八千代オイコス かわら版

第 28 号

平成 27 年 1 月 30 日発行
NPO 法人八千代オイコス
http://www.yachiyo-oikos.jp/

「第３回印旛沼流域再生大賞」を受賞して

NPO 法人八千代オイコス　代表　川瀬純一

賞状

第三回 印旛沼・流域再生大賞
活動名称 よみがえれ花輪川
NPO法人
八千代オイコス 殿
あなたの取り組みは印旛沼とその流域の再生に大きく貢献するものです
よってその功績を称え本状を贈りこの栄誉を賞します
平成二十六年十月二十五日
印旛沼流域水循環健全化会議
委員長 虫明 功臣

平成２６年１０月２５日、２６日の２日間佐倉市ふるさと広場隣接の会場で開催された「第１２回印旛沼流域環境体験フェア」で八千代オイコスと他団体２組が千葉県・印旛沼流域健全化会議より「第３回印旛沼流域再生大賞」を受賞致しました。

これは八千代オイコスが平成１３年１２月に設立して以来１３年の長きに亘り、八千代市の自然環境保全活動を基本として市内北西部を源に発する印旛沼水系最上流部の「花輪川」を主とした活動の場に「環境美化、自然環境調査や生物多様性の再生」に取り組んできた結果と評価するものです。

この間、親子を対象に今年で８年継続の夏休みに開催してきた「川の学校」は参加の子どもと花輪川の生き物さがしや川遊びの後、“水について“、”川の生き物“、”印旛沼の役割“、”人と環境“等体験を通して学ぶことが「次世代への環境教育につながれば」の思いを強く、事業の主体に盛り込んで参りました。

オイコス活動１３年間を通じ、平成１６年５月に社団法人・日本河川協会より「花輪川の美化・環境保全活動」、平成２４年１２月には環境省水・大気環境局長より「水・土壌環境の保全活動に貢献あり」との表彰状を頂き、今回の大賞を併せて３回目の受賞となりました。

オイコスのメンバー一同これを励みに今後尚一層のたゆまぬ活動を継続して参りたいと思います。

小原事務局長が受賞式に出席

１０月２５日・２６日「第１２回印旛沼流域環境・体験フェア」が佐倉ふれあい広場辺で行われました。天候にも恵まれ多くの人の参加がありました。

開会式後オイコスは栄えある「印旛沼・流域再生大賞」を他の一団体と共に受賞しました。虫明委員長より受賞選考理由の報告がありました。

「花輪川を対象に長年に亘り河川の浄化・美化、広報活動また川の学校を開催し子供達に環境の大切さを体験させたり印旛沼とのつながりも学ばせた。地元との連携を深めた活動を高く評価した」との主旨でした。

小原事務局長は挨拶で受賞への謝辞と今後とも工夫をこらし活動を続けたいとの決意を述べました。ブースの出展は両日とも５０団体以上あり、各市、研究機関、学校、一般と広い分野に渡っていました。

オイコスは新しく作り直した活動パネル、かわら版、各種賞状などを揃えて会のＰＲをしました。（島）

米づくり体験教室

▲今年の美味しい米作りメンバーです！

八千代オイコスでは毎年、市内の神久保地区にある 1/4 反ほどの小さな田圃でもち米づくりをしています。今年から市民の皆様にも米づくりを体験してもらおうと会員を募集したところ 6 家族の応募がありました。オイコス会員の指導の下、子供たちを含め総勢 35 名が半年間米づくりに挑戦しました。

春の陽ざしが強くなり、初夏の陽ざしに変わった 4 月 29 日、水を張った田圃でシロカキから体験開始です。耕運機で田圃の土を柔らかくした後、大きなトンボで表面をならします。

田植えは 5 月 5 日の子供の日に行いました。目印を付けた長い紐に横一列になって苗を片手に植えつけました。田んぼに足を取られてつまずいたり、転んだり、皆ドロドロで大奮闘しました。5 月末～7 月末まで月に一度は田の草取り。雑草はのびるのが早い。オイコスでは除草剤や農薬は使いません。9 月 13 日にたわわに実ったお米の刈り取り。近くの竹林から竹を切り取り、棚を作りハザ掛けをして天日干しです。この陽ざしがお米を美味しく育みます。大風の日があり棚が一度崩れましたが、直ぐに修理。稲が十分乾燥した 10 月 4 日に無事に脱穀作業が終わりました。新会員の皆さま本当にお疲れ様でした。

籾摺りは 11 月 9 日に行い、収穫総量は約 73 kg（1 表は 60 kg）、昨年より少し多くなりました。参加者 15 家に 2 kg（1 升は約 1.5 kg）ずつ配分しました。残りの 43 kgは 12 月 21 日のお餅つき会に使いました。皆で楽しいお餅つき、25 臼のお餅になりました。（小原）

八千代オイコス 米づくり

▼5 月 5 日　田植え

▼9 月 13 日　収穫

▼9 月 13 日　ハザ架け

▼10 月 4 日　脱穀作業

もちつき大会

12 月 21 日

▲あったかい豚汁に舌つづみ

▲僕もツイタよ！

▲私も頑張ったよ！

もちつきで楽しかったこと

ぼくは、今回このもちつきで楽しかったことは、もちをつくことです。

うすの中にもち米を入れて、きねでつぶすことがおもしろかったです。もちを食べることはおいしかったです。

つきたてのもちにきな粉をつけて食べることがおいしかったです。

また、がんばったことは、七輪に火をおこすことです。

七輪に入っている炭に火をつけて、ぼくは、うちわであおぐことをがんばりました。

今回のもちつきで学んだことは、もちをつくために必要なきねは、意外と重かったことと、きねでもちをつくことも楽ではないことです。

もちつきは本当に楽しかったです。

小６　加納　竜司

もちつきたいかいにさんかしました

きょうは、とてもよいてんきできもちがよかったです。はじめてだったので、きねはおもいかなーとおもったけど、いちばん小さいきねでおもちをついたらおもくなかったから気にしないでつけたからたのしかったし、ほかの人がついているのをみたらバンと音がしたからびっくりしました。

ついたあとのおもちはとてもおいしかったです。おもちはきなことなっとうにしました。かまどのちかくにいくとあたたかったです。クリスマスツリーもかざってあるところでした。きてからしばふもいっしゅうしました。ひをおこすのもやりました。うちわやダンボールで空気をおくりました。しゃしんもいっぱいとりました。手すりがてつぼうのかわりになったから、コウモリもできるようになったから、うれしかったです。火がついたときは、ちょっとビビったけどだんだんなれてきました。

なかまち　いぶき